

公共施設について考えよう ～No.3～

～前回までのおさらい～（前月号までは町ホームページでも御覧頂けます）

少子高齢化社会を迎えた今、行政は大きな転換期を迎えており、公共サービスや公共施設のあり方についての見直しが必要です。老朽化した施設が一斉に更新の時期を迎えるにあたり、どう利用し、更新していくと良いかを考えていく必要があります。その様な中、働く世代の減少により社会を支える人が少なくなり、税収の確保が難しい状況であり、税金の使い道の見直しが必要です。

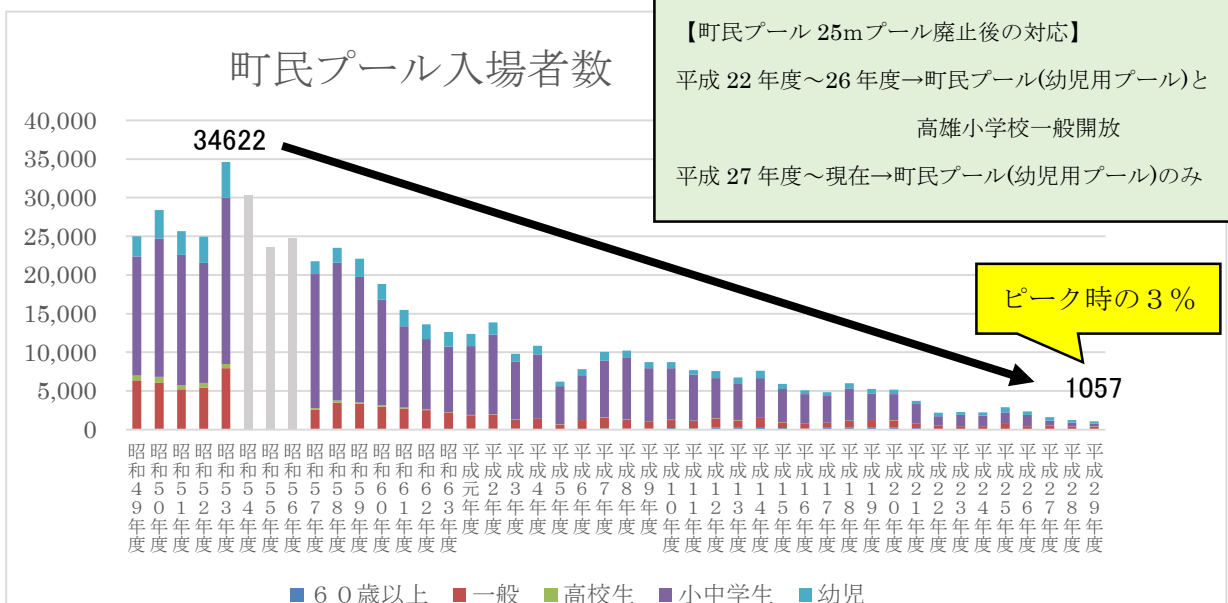
全町民利用施設の中で設置年数が経過している町民プールを例に取り上げて、運営状況や費用について見てみましょう。

<例>

施設名	扶桑町町民プール	設置年月日	昭和 49 年 7 月 (経過年数 45 年)
開場日	7 月 1 日から 8 月 31 日までの間 で教育委員会が公示した毎日	開場時間	午前 10 時～午後 5 時
耐震基準	旧基準	バリアフリー対応	未対応
設備	幼児用プール (254.34 m ²) 1 基 ※25mプールは平成 21 年まで実施しその後廃止	設備の課題	・ろ過器、給水管の老朽化 ・プール層の老朽化 ・プールサイドシートの貼替え

『入場者数はピーク時の3%』

延べ利用人数は、昭和 53 年度は 34,622 人の利用がありましたが、近年（平成 29 年度）は 1,057 人（幼児用プールのみ）となり、ピーク時の 3% まで減少しています。



『数字で見る スポーツ施設の比較』

	平成 2 9 年度 プール運営費	平成 2 9 年度 総合体育館運営費
管理費	6, 187, 782 円	15, 202, 768 円
開場（開館）日数	41 日	—
入場（利用）者数（延べ人数）	1, 057 人	92, 589 人
入場料、使用料	45, 420 円	5, 428, 000 円
受益者負担率	0. 73%	35. 70%
1 日あたり管理費用	150, 922 円/日	—
一人あたり管理費用	5, 854 円/人	164 円/人
一人あたり管理費用（入場料、使用料除）	5, 811 円/人	106 円/人

※プール初日は無料開放

『今後どうしていくと良いかを考えていく必要があります』

利用者は減少しましたが、現在も利用している人はいます。しかし、経費や収入のバランスも考える必要があります。また、安心して利用できるように設備の課題や更新についても考える必要があります。このような状況の施設を今後も継続すると良いのでしょうか？また、建て替えると良いのでしょうか？それとも廃止をして見直しをすると良いのでしょうか？を考えていく必要があります。

『ワークショップを開催します。ご意見をお聞かせください。』

今回は町民プールを例にしましたが、その他の施設についても様々な状況を考慮した上で施設を継続するのか、経費を見直す必要があるのか、耐用年数を迎えた際に建て直すと良いのか、廃止した方が良いのかを1つ1つの施設について考えていく必要があります。そこでワークショップを開催し、今後の公共施設再編のあり方を決定する為に皆さまのご意見を聞かせて頂きたいと思います。施設を普段からご利用の方、利用したことはなくても税を納めている方など、様々な立場の方からのご意見をお聞きする為、無作為で抽出させて頂き参加のご依頼をさせて頂きます。ご協力をお願いします。ご依頼は8月～9月頃（予定）に郵送にてさせて頂く予定としております。

【住民意見交換会（ワークショップ）開催予定日】

1 2 月 7 日（土）	午後 1 時～午後 3 時 0 0 分
1 2 月 2 1 日（土）	午後 1 時～午後 3 時 3 0 分
1 月 1 1 日（土）	午後 1 時～午後 3 時 3 0 分
1 月 2 5 日（土）	午後 1 時～午後 3 時 3 0 分

※開催日、時間は変更となる場合があります。 【令和元年8月発行】

問い合わせ 扶桑町 総務課 総務グループ

電話 0 5 8 7 - 9 3 - 1 1 1 1（内線 2 1 4）